



まちづくり情報サイト

「街元気」は、まちをもっと元気にしようとまちづくりに頑張る人を応援します

f シェアする

Tweet

🗺️ サイトマップ

イベント・メルマガ

研修・オープン会議

学習教材・統計

コラム・事例紹介

タウンプロデューサー

まちづくり掲示板

政策関連情報

このサイトについて

コラム・事例紹介

ホーム > コラム・事例紹介 > 街と、人と、生きていく。 マチビト > アジアとの近接性を活かしたまちづくり－福岡における取組－ 天野 宏欣さん

街と、人と、生きていく。 マチビト

まちづくりコラム

タウン誌事例集

マップ事例集

取組事例

地図から検索

アジアとの近接性を活かしたまちづくり－福岡における取組－

f シェアする

Tweet



天野 宏欣 (あまの ひろやす)

福岡アジア都市研究所 フェロー

大学院卒業後、株式会社野村総合研究所に入社。上海や台北に駐在し地域計画に携わった後、福岡アジア都市研究所に転職。まちづくりのみならず、創業支援などの研究も実施。

－福岡ではどのようなまちづくりが行われているのですか－

いま、福岡は、製品・サービスの輸出といったアウトバウンドのみならず、観光などのインバウンドでも「近接性」の観点からアジアとの関わりが重視されています。毎年、数多くの観光客が福岡を訪れていますが、観光客が不自由なく滞在できるよう、4言語に対応したサイン（標識等）が設置されていますし、観光客が買い物をしやすいよう、銀聯（ぎんれん）カード(※)もいち早く導入されました。

最近では、MICE(※)関連の活動にも積極的であり、中心市街地活性化の観点からは、ユニークベニユーの活用が挙げられます。2012年9月30日から10月4日までの5日間、「第32回国際泌尿器科学会（SIU）」が福岡で開催され、世界93カ国・地域から3,000名近くの専門家、関係者が福岡に集まりました。10月1日の夜にはSIUのイベントとして「福岡でしかできないおもてなし～SIUナイト」が行われ、川端商店街をSIUのためだけに開放し、櫛田神社や博多町家ふるさと館、はかた伝統工芸館など各所にてイベントが開催されました。川端商店街にはステージが設営され、博多ならではのアトラクシ

ログイン

会員（メルマガ）登録はこちら！

メールマガジン
配信内容募集中

マチイベ！
－街のイベント－
掲載依頼募集中

🔍 サイト内検索

検索

🔍 もっと詳しく検索する

ョン「青龍太鼓」や「花の会の三味線」が披露されました。個店も趣向を凝らし、博多ならではの食事、博多織や山笠にちなんだお土産を提供するとともに、参加者はスタンプラリーを片手に商店街を練り歩きました。街全体が祝祭ムードに包まれ、まるで縁日のような賑わいを見せました。福岡市としても初めての試みでしたが、参加者からも高い評価を得た取組であったと思います。このように、中心市街地に求められる役割や機能は、その時々によって変化しますが、福岡では、中心市街地を“都市圏をけん引する経済エンジン”として位置づけています。中心市街地が稼げなければ、都市圏も稼ぐことはできないというロジックで整理しています。

(注)

※銀聯カード

中国銀聯が発行する「銀聯（ぎんれん）」のロゴがあるキャッシュカードやクレジットカードのこと

※MICE（マイス）

Meeting（企業等の会議）、Incentive Travel（報奨旅行）、Convention（国際会議）、Exhibition/Event（展示会・見本市、イベント）の4つの頭文字を合わせた造語であり、多数の集客交流が見込まれるビジネスイベントの総称。

－これからの地域で重要な視点とは何でしょうか－

国内の定住人口や交流人口を近隣の地域と争うだけでは“ゼロサム”の世界に突入します。その結果、一部の住宅地や商店街だけに人が集まるようになります。福岡がアジアとの関わりを重視しているように、全体のパイをどう広げるかにも注目が必要ではないでしょうか。

また、同時に、積極的に世界に向けて発信していくことも必要です。海外の人々に取組自体を“アメーzing！”と思ってもらい、そして福岡に実際に訪れてもらうには、やはり発信活動を強化していかなければなりません。

1 2 3

登録日 2015年7月24日（金曜）00:00





[よくあるご質問](#) [サイトマップ](#) [お問い合わせ](#) [リンク・バナーについて](#) [ご利用規約](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [個人情報保護方針](#)

経済産業省（法人番号 4000012090001）
主催／経済産業政策局 中心市街地活性化室 事務局／株式会社 野村総合研究所
Copyright © Ministry of Economy, Trade and Industry.



まちづくり情報サイト

「街元気」は、まちをもっと元気にしようとまちづくりに頑張る人を応援します



Tweet

サイトマップ

イベント・メルマガ

研修・オープン会議

学習教材・統計

コラム・事例紹介

タウンプロデューサー

まちづくり掲示板

政策関連情報

このサイトについて

コラム・事例紹介

ホーム > コラム・事例紹介 > 街と、人と、生きていく。 マチビト > アジアとの近接性を活かしたまちづくり－福岡における取組－

街と、人と、生きていく。 マチビト

まちづくりコラム

タウン誌事例集

マップ事例集

取組事例

地図から検索

アジアとの近接性を活かしたまちづくり－福岡における取組－

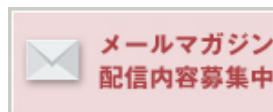
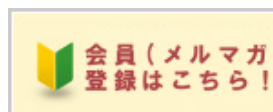
－海外への効果的な発信－

海外の個別地域の事情を知っている人材は非常に貴重です。その地のことをよく知る人材が「留学生」です。日本のことを好きな留学生は多く、その地で暮らす留学生を仲間にし、母国に発信する仕掛けも有効です。現在、そのような取組も増えてきています。また、発信の内容も重要で、「福岡市がすごい」と伝えるのではなく、「福岡市の〇〇という和食屋が〇〇だから良かった」などの体験談を伝えてもらおうと、伝わりやすさが増します。

また、海外に駐在する方からの情報発信も有効です。福岡県新宮町沖にある相島ですが、この地は“猫の島”として知られています。福岡県香港事務所の職員が、相島をシリーズとして、香港で情報発信したことで、香港人が数多く訪れるきっかけとなりました。香港事務所のフェイスブック はきちんとメンテナンスもされており、鮮度のある情報が提供されています。

－その他に福岡で力を入れている取組とはどのようなものでしょうか－

現在、福岡市の取組を海外に紹介する事業 が進められています。都市化の進行、人口増加によって様々な社会問題を誘発してきましたが、福岡市にはこれまで諸問題を克服してきた経験と実績があります。今後、同様の問題は、発展途上国でも発生する可能性が高く、福岡市の経験と実績を同じ問題で悩む海外の方にも伝えていきたいという想いから事業がスタートしています。また、福岡市はアジアとの交流を通じ、発展してきたという背景がありますので、これまでの経験をアジアの各地に返していくこ



もっと詳しく検索する

とは、福岡市の使命・役割であるともいえます。

ここでは、まちづくりにフォーカスした研修事業も提供しています。例えば、問題が生じた背景、具体的な問題、問題を解決するために実践してきた取組などを日本語のみならず、英語、中国語、韓国語で紹介しています。海外の方に対して、視察という学びの場を提供し、福岡市で学ばれた方が自国に戻り、福岡市の取組を人に伝えてもらっています。

－国際視察・研修のどのような点がポイントでしょうか－

日本と海外、また都市のサイズによって、課題は異なります。日本に来て、成功事例をそのまま学だけではあまり意味がありません。その地域には、どのような背景で、そのような状況になっているのか、現在、どのような取組を行っているのかについて探ることが必要になります。例えば、タイの方が“いかに水路をきれいにするか”という問題意識で研修に参加し、福岡県柳川市が“いかに水辺に観光の広がりをもたせるか”という取組を紹介したところで、知ることに対するインセンティブは働きません。また、“海水淡水化”というテーマを扱っても、“海水淡水化”のプラント設計、オペレーション、財務など、参加者が知りたいことは様々だと思います。他にも、福岡の商業施設キャナルシティの運用を知りたい方もいれば、鐘淵紡績の工場跡地からキャナルシティへと開発された経緯を知りたいという方もいらっしゃると思います。ニーズを把握した上で行わなければ何をやっても意味が無いと感じます。

なお、国際視察・研修に参加している人たちは、成功事例を見たいのではなく、課題と成功事例をセットで見たいと考えています。確かにすでに成功となった取組を見るだけでは学びも少ないと思います。海外の方が何を課題に感じ、何をやろうとしているのかを把握し、研修を組み立てることが必要だと思います。

1 2 3

登録日 2015年7月24日（金曜）00:00





[よくあるご質問](#) [サイトマップ](#) [お問い合わせ](#) [リンク・バナーについて](#) [ご利用規約](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [個人情報保護方針](#)

経済産業省（法人番号 4000012090001）
主催／経済産業政策局 中心市街地活性化室 事務局／株式会社 野村総合研究所
Copyright © Ministry of Economy, Trade and Industry.



まちづくり情報サイト

「街元気」は、まちをもっと元気にしようとまちづくりに頑張る人を応援します



Tweet

サイトマップ

イベント・メルマガ

研修・オープン会議

学習教材・統計

コラム・事例紹介

タウンプロデューサー

まちづくり掲示板

政策関連情報

このサイトについて

コラム・事例紹介

ホーム > コラム・事例紹介 > 街と、人と、生きていく。 マチビト > アジアとの近接性を活かしたまちづくり－福岡における取組－

街と、人と、生きていく。 マチビト

まちづくりコラム

タウン誌事例集

マップ事例集

取組事例

地図から検索

アジアとの近接性を活かしたまちづくり－福岡における取組－

－国際視察・研修の受入における課題とはどのようなものでしょうか－

本事業は、福岡市の事業ですので、他都市の事例を見たいというニーズに対応できないという課題があります。また、例えば先ほどの“海水淡水化”のケースのように、運営管理を行う担当セクションが視察者に説明を行います。本当はプラントメーカーの技術者が説明することでプラント販売の具体的な商談につながる可能性が期待できると思います。しかしながら、プラントメーカーが福岡の企業ではないなどの理由から、運営管理担当セクションはその企業の営業につなげるという意識は強くはありません。そう考えると、市単位で実施しても拡張性は期待できませんので、今後は、テーマカットで他都市や企業と連携した取組みに発展させることが必要だと感じています。

また、今後は、視察を無料で受け入れるのではなく、しっかりとした事業に組み立て、きちんと実入りのある活動として実施すべきだと考えています。

－これからの福岡のまちづくりを担う人材とはどのような方でしょうか－

福岡に限らず、やはり実行する人材が必要不可欠だと思います。また、地域の外とつながりを持っている人材、例えば、海外メディアとのつながりを持つ人材も必要になってくることでしょう。福岡市の組織内では外国籍の方が活躍していますし、柳川市には地域おこし協力隊員としてインドネシア在住経験のある職員が所属しています。こういったケースは今後も増えてくるのではないのでしょうか。

ログイン

会員（メルマガ）登録はこちら！

メールマガジン
配信内容募集中

マチイベ！
－街のイベント－
掲載依頼募集中

サイト内検索

検索

もっと詳しく検索する

【事務局コメント（編集後記）】

今回は福岡におけるまちづくり、特にインバウンドの取組についてお話をお伺いしました。インバウンドでは、地域観光資源の抽出・開発、受入環境の整備、情報発信・PRの3点が重要と考えられますが、それぞれにおいて、福岡の特徴および課題を分かりやすく説明していただきました。地域によって背景は異なりますので、そのまま福岡の取組を活用することはできませんが、視座として、改めて地域を見つめ直すきっかけになるのではないのでしょうか。

 シェアする  Tweet

1 2 3

登録日 2015年7月24日（金曜）00:00




 @machigenki

 街元気 Facebook

 経済産業省

 MCOM 中小企業基盤整備機構

 株式会社 全国商店街支援センター



[よくあるご質問](#) [サイトマップ](#) [お問い合わせ](#) [リンク・バナーについて](#) [ご利用規約](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [個人情報保護方針](#)

経済産業省（法人番号 4000012090001）
主催／経済産業政策局 中心市街地活性化室 事務局／株式会社 野村総合研究所
Copyright © Ministry of Economy, Trade and Industry.